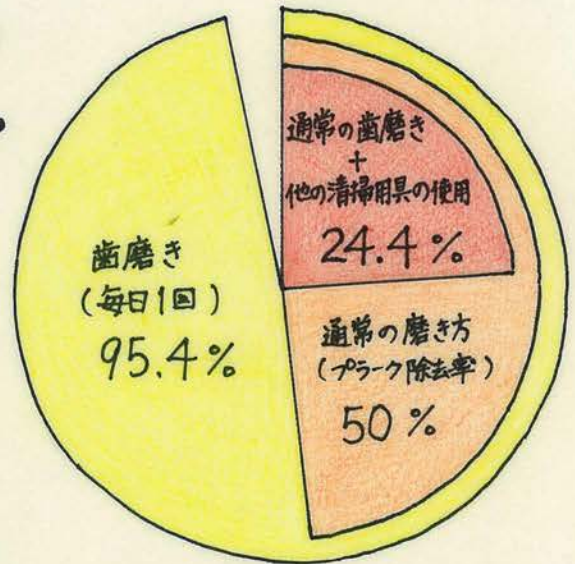


リスク部位の重点磨き

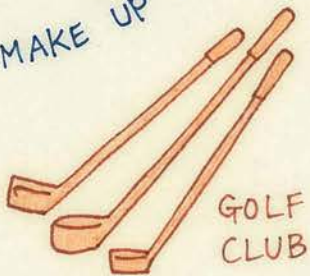
で虫歯や歯周病を予防する

歯科疾患実態調査によれば、日本人の95.4%が毎日1回は歯磨きをします。ところがプラーク(歯こう)の除去率になると、わずか50%。他の清掃用具の使用は、たった24.4%です。

一生懸命磨いているのにプラーク(歯こう)が落ちていないのは、リスク部位清掃に適した清掃用具を使用していないからに他なりません。



● プラーク(歯こう)除去率 ●



女性は、お化粧をあるときにチークブラシやアイシャドーブラシ、眉毛ブラシなど数種類のブラシを使いますよね。フェイス用のチークブラシは広い面に使うので大きくてもいい。でも、アイシャドーのように糸田かい部分には小さめのブラシが適していて、みなさん当たり前に使っています。では、なぜ使い分けるのか。それは、

きれいに仕上がるし時間もかからないからです。目的に応じて選択するゴルフクラブや、守備位置によって異なる野球のグローブも同じことです。

口の中の清掃も同じ考えで、歯間ブラシやフロス(糸ようじ)、ワンタフトブラシはリスク部位に、歯ブラシは歯面や歯周ポケットを中心に使い分けることにより、楽に効率よく歯を磨けます。